

奄美

世界自然遺産 登録へ



マングローブ原生林

奄美大島中南部に広がる日本で2番目の大きさを誇るマングローブ原生林。絶滅危惧種のリュキュウアユなど、貴重な動植物も生息。

第1回 自然

2018年夏 奄美を世界自然遺産へ

生命あふれる島を
守っていくために

奄美大島・徳之島が世界自然遺産登録を目指しているのをご存知ですか？
奄美固有の生態系と豊かな生物多様性が評価され、沖縄県の沖縄島北部や西表島と共に2018年の登録を目指しています。

遺産候補地となっている奄美大島・徳之島を含む奄美群島は、希少な生き物が生息する亜熱帯の森に加え、美しい海に広がる多様なサンゴ礁などが多くの人々を魅了する生命あふれる島。

アマミノクロウサギや県鳥でもあるルリカケスなど、独自の進化をとげた奄美にしか生息しない生き物や絶滅危惧種が多く暮らしています。この豊かな自然をもとに、ジャングルのようなマングローブ原生林でのカヌー体験や奄美固有の生き物の観察ツアー、ダイビングをはじめとするマリンスポーツなどの魅力を楽しむことができます。

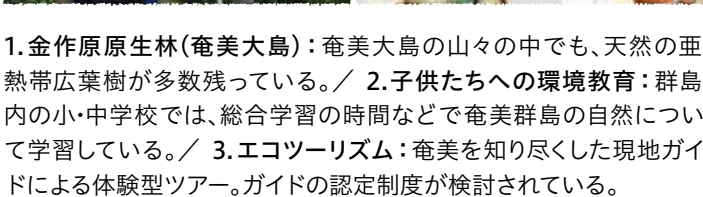
一方で、これらの貴重な自然環境を守る取組は欠かせません。群島内では希少な生き物の保護や、環境教育の推進、エコツアーガイドの人材育成など、さまざまな活動が行われています。



1



2



3

1. 金作原原生林(奄美大島)：奄美大島の山々の中でも、天然の亜熱帯広葉樹が多数残っている。／ 2. 子供たちへの環境教育：群島内の小・中学校では、総合学習の時間などで奄美群島の自然について学習している。／ 3. エコツーリズム：奄美を知り尽くした現地ガイドによる体験型ツアー。ガイドの認定制度が検討されている。

特設サイト「時を紡ぐ、彩りの島 奄美・琉球」

<http://www.kagoshima-kankou.com/amamiryuky/>

奄美・琉球 世界遺産

検索

